平成22年度事務事業評価表（平成21年度振り返り）

政策名	快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名	28	廃棄物の発生抑制とリサイクル等の推進

基本事業番号・名	28-02	適正処理のための条件整備

事務事業番号	所管課係名 事務事業名		事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）	対象指標（対象の数値指標化） 指標	実績値（単位）	活動指標（手段の数値指標化） 指標	実績値（単位）	成果指標（意図したことの結果の数値指標化） 指標	実績値（単位）	事業費（実績額）①	人件費（理論値）②	トータルコスト ①+②	改革・改善の余地（目的妥当性・効率性・有効性・公平性から）	改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性（所管課長記入欄）
28-02-01	ごみ対策課 業務係	対象	清掃施設（ボックス、ステーション）に排出される可燃ごみ	排出量	平成21年度 18,196 （ｔ）	収集回数	平成21年度 201 （日）	ごみの出し方のルールを守っていると答えた住民の割合（19年度はルールを知っている割合）	平成21年度 77.9 （％）	平成21年度 191,294	平成21年度 81,140	平成21年度 272,434	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：■ あり □ なし 可燃ごみ収集の有料化 ごみ減量施策の実施 事業系ごみの排出抑制	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 21年度の実施を見送った家庭ごみ有料化について収集体制も含め再検討をおこない、さらなるごみの減量化を進める。
	可燃ごみ収集事業	手段	週４回、30コースに分けて収集を実施		平成20年度 18,467 （ｔ）		平成20年度 207 （日）		平成20年度 78.0 （％）	平成20年度 194,027	平成20年度 81,873	平成20年度 275,900		
		意図	衛生的に迅速的に収集する		平成19年度 18,515 （ｔ）		平成19年度 208 （日）		平成19年度 94.9 （％）	平成19年度 209,881	平成19年度 81,246	平成19年度 291,127		
28-02-02	ごみ対策課 業務係	対象	清掃施設（ボックス横、ステーション）に排出される不燃ごみ	排出量	平成21年度 2,169 （ｔ）	収集回数	平成21年度 253 （日）	ごみの出し方のルールを守っていると答えた住民の割合（19年度はルールを知っている割合）	平成21年度 77.9 （％）	平成21年度 26,561	平成21年度 20,427	平成21年度 46,988	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：■ あり □ なし 不燃ごみ収集の有料化 収集回数の見直しによるコスト削減	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 平成18年10月より実施の容器包装その他プラスチック分別収集実施により、収集量は大幅な減とはなっているが、排出ごみの中身はほとんどがプラである。家庭ごみ有料化導入に合わせ、収集回数を月１回程度にし、ごみの減量化を進める。
	不燃ごみ収集事業	手段	週５回、25コースに分けて収集を実施		平成20年度 2,284 （ｔ）		平成20年度 258 （日）		平成20年度 78.0 （％）	平成20年度 25,725	平成20年度 20,409	平成20年度 46,134		
		意図	衛生的に迅速的に収集する		平成19年度 2,288 （ｔ）		平成19年度 257 （日）		平成19年度 94.9 （％）	平成19年度 33,955	平成19年度 30,408	平成19年度 64,363		
28-02-03	ごみ対策課 業務係	対象	有害ごみ専用ボックスに排出される蛍光管及び別袋で排出される乾電池	排出量	平成21年度 42 （ｔ）	収集回数	平成21年度 103 （日）	ごみの出し方のルールを守っていると答えた住民の割合（19年度はルールを知っている割合）	平成21年度 77.9 （％）	平成21年度 651	平成21年度 4,063	平成21年度 4,714	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：■ あり □ なし 蛍光管について、収集箇所の増設が必要である。	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 収集体制の見直しの際に、不燃ごみと同時に収集すよう検討する。
	有害ごみ収集事業	手段	蛍光管は、専用ボックスから週２回の収集、乾電池は不燃ごみ収集時に別袋にて同時収集。		平成20年度 39 （ｔ）		平成20年度 102 （日）		平成20年度 78.0 （％）	平成20年度 3,296	平成20年度 4,113	平成20年度 7,409		
		意図	安全に衛生的に収集する。		平成19年度 42 （ｔ）		平成19年度 103 （日）		平成19年度 94.9 （％）	平成19年度 870	平成19年度 8,124	平成19年度 8,994		
28-02-04	ごみ対策課 業務係	対象	清掃施設（ボックス、ステーション）に不法投棄された廃棄物	不法投棄物の排出数	平成21年度 2,422 （ｔ）	収集回数	平成21年度 168 （日）	不法投棄物の苦情件数。廃棄物が不法に投棄された清掃施設の数〔未把握〕	平成21年度 （件）	平成21年度 626	平成21年度 4,239	平成21年度 4,865	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：■ あり □ なし 不法投棄パトロールを強化する。 不法投棄を誘発させない清掃施設の工夫・改善をする。	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 収集方式の見直しにより、可燃ボックスを撤去すれば、かなりの件数の減少につながる。
	不法投棄物収集事業	手段	粗大ごみ収集班が業務の合間に随時収集する		平成20年度 1,819 （ｔ）		平成20年度 155 （日）		平成20年度 （件）	平成20年度 281	平成20年度 4,193	平成20年度 4,474		
		意図	不法投棄であることを周知し、最終的に回収する。		平成19年度 2,251 （ｔ）		平成19年度 85 （日）		平成19年度 （件）	平成19年度 430	平成19年度 4,102	平成19年度 4,532		
28-02-05	ごみ対策課 業務係	対象	多摩地域自治体、東久留米市議会、市民	配布自治体数、議員数、配布希望住民数	平成21年度 70 （人）	作成部数	平成21年度 100 （人）	配布対象で本市のごみ行政について理解している数〔未把握〕	平成21年度 （％）	平成21年度 200	平成21年度 243	平成21年度 443	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：□ あり ■ なし	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 配布部数も限られていることから、今後はホームページでの掲載をして行くことを検討したい。
	清掃事業概要作成事業	手段	前年度中に行った清掃業務内容を数値化し、編纂した「清掃事業概要」を100部作成し、自治体、議会等に配布		平成20年度 70 （人）		平成20年度 100 （人）		平成20年度 （％）	平成20年度 205	平成20年度 237	平成20年度 442		
		意図	事業内容の数値化、編集でごみ行政の現状を把握し、施策に反映させるとともに議会・市民への理解の一助とする		平成19年度 70 （人）		平成19年度 100 （人）		平成19年度 （％）	平成19年度 210	平成19年度 237	平成19年度 447		

平成22年度事務事業評価表（平成21年度振り返り）

政策名	快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名	28	廃棄物の発生抑制とリサイクル等の推進

基本事業番号・名	28-02	適正処理のための条件整備

事務事業番号	所管課係名 事務事業名	事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）		対象指標（対象の数値指標化） 指標	実績値（単位）	活動指標（手段の数値指標化） 指標	実績値（単位）	成果指標（意図したことの結果の数値指標化） 指標	実績値（単位）	事業費（実績額）①	人件費（理論値）②	トータルコスト ①+②	改革・改善の余地（目的妥当性・効率性・有効性・公平性から）	改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性（所管課長記入欄）
28-02-06	ごみ対策課 業務係	対象	し尿汲み取りの所有者及び占有者	し尿汲み取り施設の所有者及び占有者数	平成21年度 167（人）	柳泉園への搬入量	平成21年度 483（kl）	柳泉園への搬入台数	平成21年度 218（台）	平成21年度 3,185	平成21年度 957	平成21年度 4,142	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：□ あり ■ なし 収集業務は必要であり、収集方法にも改善の余地はない。	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 対象は減少を続けているが、事業は継続する必要がある。
	し尿収集事業	手段	汲み取り式のトイレの所有者及び占有者からの申請に基づき、委託作業者が汲み取りを実施している。		平成20年度 167（人）		平成20年度 497（kl）		平成20年度 460（台）	平成20年度 3,511	平成20年度 949	平成20年度 4,460		
		意図	し尿の衛生的、効率的な収集及び周辺環境への悪影響（悪臭、害虫の発生）を防止する。		平成19年度 175（人）		平成19年度 546（kl）		平成19年度 454（台）	平成19年度 3,970	平成19年度 948	平成19年度 4,918		
28-02-07	ごみ対策課 管理係	対象	ごみ対策課ごみ収集事業従事職員	ごみ収集従事職員	平成21年度 25（人）	講習会等の講習回数	平成21年度 3（回）	事故の発生件数	平成21年度 0（件）	平成21年度 19	平成21年度 121	平成21年度 140	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：■ あり □ なし 正副安全運転管理者講習会の他に、収集職員に安全運転講習の受講できる場を設ける。	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 ２１年度は職場で田無警察職員による安全運転講習を実施した。今後も、この取り組みを継続するとともに、朝礼等において安全運転対策に関わる情報提供や注意喚起を繰り返し行っていく。
	ごみ収集従事職員交通安全事業	手段	安全運転管理の徹底を行う。		平成20年度 25（人）		平成20年度 3（回）		平成20年度 2（件）	平成20年度 79	平成20年度 79	平成20年度 158		
		意図	作業の適正な執行・安全確保により、事故発生を極力抑制する。		平成19年度 27（人）		平成19年度 2（回）		平成19年度 0（件）	平成19年度 17	平成19年度 79	平成19年度 96		
28-02-08	ごみ対策課 管理係	対象	ごみ対策課庁舎	庁舎数	平成21年度 1（棟）	維持管理費	平成21年度 11,999（千円）	維持管理費の予算執行率	平成21年度 85.9（％）	平成21年度 10,312	平成21年度 638	平成21年度 10,950	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：□ あり ■ なし 庁舎が老朽化かしており、抜本的な改善を行うしかない。	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 庁舎建て替えを計画しており、現状維持に努める。
	ごみ対策課庁舎維持管理事業	手段	ごみ対策課庁舎の維持管理、設備の保守委託		平成20年度 1（棟）		平成20年度 11,369（千円）		平成20年度 90.1（％）	平成20年度 10,240	平成20年度 475	平成20年度 10,715		
		意図	建物、設備等を適正に保守管理するとともに、高熱水費等維持管理費を極力抑制する。		平成19年度 1（棟）		平成19年度 10,331（千円）		平成19年度 91.9（％）	平成19年度 9,494	平成19年度 473	平成19年度 9,967		
28-02-09	ごみ対策課 業務係	対象	市民が申し込んだ粗大ごみ	粗大ごみ申込件数	平成21年度 27,026（件）	粗大ごみ処理件数	平成21年度 63,186（件）	粗大ごみ収集量	平成21年度 93（ｔ）	平成21年度 27,381	平成21年度 24,256	平成21年度 51,637	選択項目：22年度以降に向けた方向性 説明（選択理由）：現状維持 改善の余地：■ あり □ なし リユースを促進することで、発生を抑制する。	選択項目：所管課長名： 説明（選択理由）：ごみ対策課　小川　正 23年度以降に向けた方向性：現状維持 粗大ごみからのリサイクルを今後も進め、現状を維持する。
	粗大ごみ収集事業	手段	電話受付、地域別に週４回の戸別収集		平成20年度 26,471（件）		平成20年度 56,558（件）		平成20年度 99（ｔ）	平成20年度 22,313	平成20年度 16,375	平成20年度 38,688		
		意図	粗大ごみを収集し、選別をして処理する。		平成19年度 25,720（件）		平成19年度 66,801（件）		平成19年度 103（ｔ）	平成19年度 16,317	平成19年度 32,498	平成19年度 48,815		